

C&C

Cure and Care
communication

第103号

コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>

医療法人ピーアイエー

ナカムラ病院
介護医療院 ひいろ
介護老人保健施設 まいえ
グループホーム つばい

社会福祉法人双樹会

特別養護老人ホーム
陽光の家
通所介護事業所
居宅介護支援事業所

遅ればせながら、新年あけましておめでとうございます。

介護医療院新設、初期集中支援事業の開始、そしてベトナム人技能実習生の入職と、当法人にとって様々な変化のある年が続きました。また、医療法人ピーアイエー・社会福祉法人双樹会の両法人の創設者であり前理事長でもあった中村英雄が世を去って二年。各部署での世代交代も進む中、職員それぞれに戸惑いや不安もあったことと思えます。しかしそのような急流の中においても、落ち着いて動くことなく目の前の業務に向き合ってきたのではないかとも思えます。

平成三十年九月に新設いたしました介護医療院・ひいろは、おかげさまで他医療機関からのお問い合わせも多くいた、だいており、医療・介護度の高さから在宅復帰の叶わない方々の適切な療養先としての必要性を強く実感しております。今後は、医療療養病棟と合わせてより一層利用者



様のニーズにお応えできるような質の高いC&C~Cure&Careを提供できるよう、更に改善・改革に取り組んでまいります。

また、介護老人保健施設・まいえにおきましてはその機能通り在宅復帰を目標とした支援を行っておりますが、認知症病棟や介護医療院を有する当法人においての立ち位置をより明らかにし、法人間での連携プレーを更に強固にしていければと思っております。

また、認知症外来・病棟、重度認知症デイケア、認知症初期集中支援事業、認知症カフェにおきましても、昨今の認知症への関心の高まりやニーズに応じた質の高い専門性と多様性を維持し、患者さま、ご家族、そして地域の方々の拠り所となるような組織を目指したいと思っております。

さて、令和二年をどう過ごすか。時代の変化は早く、地域医療構想は容赦なく進んでおります。そのような流れの中で立ち向かうためには、今はあえて組織の在り方を

もう一度見直してみる振り返りの、地固めの時期かもしれません。「組織一丸となって」と一言で言うのは簡単ではありますが、それがどれだけでできていることでしょうか？、一人一人が一齐に同じ理念や方向に向かうのは実はとても難しいことです。その前に我々が踏むべき段階はたくさんあります。まずは個人として、また所属する社会や家庭、組織においての自分を改めて見つめなおす時期かと思うのです。自分自身を振り返る、見直す、自己肯定する。個から組織へ、自分の世界を広げ人と繋がる。そうして初めて私たちは地域や社会へ向けての発信ができると思うのです。

自身の立ち位置を俯瞰して、客観的に見るといえるのはなかなかできないことではありますが、改めて、我々一人一人の役割をはっきりと自覚し、当法人の理念に沿いつつながら、利用者の方、ご家族にとつてより誠実に、そしてより真摯に私たちの想いを皆様にお伝えできるように、邁進してまいりたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

医療法人 ピーアイエー

理事長 中村 友美

第22回

市民公開講座 冒頭講演

令和元年10月27日佐伯区民文化センターにて「第22回市民公開講座」が開催され、講師として、女優でありエッセイストとしてご活躍しておられる安藤和津さんが「明日を素敵に生きるには～介護体験を通して～」というタイトルで講演されました。その講演に先立ち、冒頭に事業紹介として「認知症初期集中支援事業・オレンジ支援チーム」について、チーム員医師であり当法人理事長の中村友美がお話させていただきました。以下講演の内容を紹介いたします。



佐伯区では平成30年10月より佐伯区医師会の委託を受けて、ナカムラ病院にチームを設置しています。チーム員は医師、看護師をはじめとした医療・介護の専門職総勢15名で構成され、それぞれの専門性を活かして活動しています。

認知症が疑われる方や、認知症の治療を受けさせたいが本人が受診を拒否している方、認知症の症状が強くて対応に困っている方など、相談は各地域包括支援センターが窓口となりチームに繋がります。チーム員が直接ご自宅へ訪問・介入することで医療や介護のサービスへ繋げていきます。

オレンジ支援チームの一日の流れについて、チーム員出演のドラマ仕立てで紹介すると、参加者の方から「とても分かりやすかった」「チームのことが分かって良かった」「チームの存在を知り心強い気持ちです」などの声をいただきました。



まずはチームの存在を知っていただかなければ何も始まりません。参加された方の記憶の片隅に残り、困っている方へ届くことを切に願っています。

ナカムラ病院 副看護部長 中村 智子

ベトナム人技能実習生紹介

令和元年12月5日、4名のベトナム人技能実習生が介護職として入職しました。

4名に聞きました
「自分の性格(長所)を一言で言うと?」



グエン・ホアン・クアン
介護医療院ひいろ (B棟4階)

「何事にも熱心で学ぶことが好きなところですよ」

好きな食べ物…神戸牛
今、一番の希望…両親に車を買ってあげたい



ダン・トゥアン・ハイ
ナカムラ病院 (B棟6階)

「愛想がよく、よく笑うところですよ」

趣味…漫画(名探偵コナン)を読むこと
今、一番の希望…日本で長期的に働きたい



グエン・デイン・フン
介護老人保健施設まいえ (A棟4階)

「物静かで冷静なところですよ」

今、一番の希望…パソコンを買いたい
日本で行ってみたいところ…富士山、東京



グエン・シー・クオン
介護老人保健施設まいえ (A棟5階)

「誰にでも親切で、よく笑います。何をしても速いところですよ」

趣味…トランペット、ギターを演奏すること
今、一番の希望…両親に新しい家を買ってあげたい



今年もRUN伴に参加しました!
今年も秋晴れの中、RUN伴に参加しました。
RUN伴は「NPO法人認知症フレンドシップクラブ」が主催しているイベントです。
今年度は広島県庁がゴールとなり、広島県太鼓団が応援パフォーマンスで迎えてくれ、一〇〇名余りの方が笑顔でゴールしました。
デイケアからは利用者さま二名、ご家族一名、職員が十五名参加しました。ご家族より、「初めての経験だったが、影の力というか、皆が一生命懸命携わっている様子が充分私共に伝わってきた」との言葉を頂き、嬉しさと共に今後繋げていこうと心に決めた一日でした。

デイケア にぎや家
主任 藤間 智子

五日市観音西小学校

体験学習



令和元年十一月二十五日五日市観音西小学校の二年生八十二名の児童さん達が「町探検」としてナカムラ病院に体験学習訪問に來られました。

理事長の中村友美よりナカムラ病院の概要を大ホールでパワーポイントを用いて説明した後、各職種（医師・看護師・リハビリ・相談員）の仕事について話をしました。子供たちは真剣にメモを取って、時には手を挙げ質問もしていました。その後、グループに分かれ病院の中を探検。屋上では「わく学校が見える。広い。」と歓声を上げ、青空を見上げたり目の前に広がる海に感激していました。医師から、超音波画像を見せてもらった時には「これどこ？なに？」と興味しんしん。他のブースでも、車いすに乗ったり歩行器で移動したり、こぼさないように水を注射器で吸う体験などの場面でも子供たちのキラキラした瞳と好奇心旺盛な姿に、私達が元気をもらえた一日でした。

ナカムラ病院 看護部長 撰 敬子

第2回 ひいろ運動会



令和元年十月三十日にリハビリテーション科主催で「第2回介護医療院ひいろ運動会」を開催いたしました。運動会は、普段居室で過ごされている入所者さまに少しでも身体を動かして、気分転換や楽しみとなる時間を持つて頂きたいという思いから毎年開催しております。大ホールを使用し、今年も赤・黄チームに分かれて大玉ポウリング、障害物競走、風船運動でおととつと！、玉入れの三種目で競い合いました。競技中は、周りのスタッフ・ご家族からの「がんばって！」「風船落とさないようにね」等の声援で入所者さまの普段見ることができない表情を感じられました。黄チームが優勢でしたが、赤チームが徐々に追い上

げを見せ最終競技の玉入れで同点となりました！同点ということでは最後は、各チームリーダーのじゃんけん一発勝負で赤チームが逆転勝利しました。惜しくも準優勝となった黄チームは悔しそうな表情、優勝を勝ち取った赤チームはびっくりしたような表情をされていました。今回も専務をはじめ各病棟スタッフの協力により滞りなく行なうことができました。来年も開催予定なので、入所者さまの笑顔が見られるよう頑張ります。

介護医療院ひいろリハビリテーション科

理学療法士 迫井 瑞樹





私たちこんなことを発表してきました

第27回日本慢性期医療学会 大阪大会

“令和”時代の慢性期医療

～スキルとエビデンスの融合を目指して～

会期：2019年12月3日(火)・4日(水)

会場：大阪国際会議場



腋窩、手掌トラブルの軽減に向けた皮膚管理 ～シュレッター新聞紙を使用して～

介護医療院ひいるB1 看護師 佐藤 幸子

B3の利用者の中には関節拘縮により皮膚が密着し、腋窩・手掌の発赤、ただれ等の皮膚トラブルが生じている方がおられます。そこで、吸収作用があり廃棄物利用によるコスト削減もできる新聞紙を使用し、効果を試みました。使用前後で平均湿度は改善し、期間中外用薬を使用せず経過でき、綿花の請求回数も半分に減少しました。今後も皮膚トラブルのある利用者及び、皮膚湿潤のある利用者へも早めに使用し、未然に防ぐことが出来るようにしていきたいです。



介護される側もする側も負担のない 車椅子移乗を目指して

ナカムラ病院B5病棟 看護師 村井 健人

当病院では全患者様がホールで食事や日中の活動をしています。

起床時、就寝時には短時間で車椅子移乗を行う必要がありますが、患者様、スタッフ共に負担を感じることが多くありました。そこで私たちは、介護される側する側の負担軽減を目指し、本研究を行いました。よりよい移乗をする為に必要な環境作りの問題点が分かり、今後も継続していく為には定期的な勉強会や新たな問題点を改善し、介護される側もする側も負担のない車椅子移乗を行えるように努力していきたいです。



足趾把持力がバランス能力および 基本的な生活動作に与える影響について

ナカムラ病院リハビリテーション科 理学療法士 田中 玲子

高齢者に多い転倒の危険因子として、バランス能力の低下が挙げられます。そこで今回、足趾把持力がバランス能力にどのような影響を与えるのかを研究しました。その結果、足趾把持力はバランス能力と関連があり、さらには生活動作能力にも影響を与えているということが分かりました。研究の結果を今後のリハビリに活かし、患者さま・入所者さまの転倒予防に役立てるとともに、生活の質を向上させるお手伝いができればと思います。



舌接触補助床の装着および摂食嚥下訓練の 実施により流涎と失語症の改善を図った1症例

ナカムラ病院歯科 歯科衛生士 富来 博子

療養生活において、集団での食事や言語による疎通が可能か否かは、他者との交流を図る上で大きな意味を持ちます。この度は、脳出血の後遺症により、流涎や食事時の食べこぼし、失語症を認めた患者様に対して、舌と口蓋の接触が得られやすくなる様、舌接触補助床の装着と摂食嚥下訓練を実施し、患者様の療養生活におけるQOLの向上に貢献できた症例を報告しました。今後も個々の患者様に寄り添いつつ、お口の健康を守るケアに努めていきたいです。



塩分調整で美味しいお汁に…

ナカムラ病院栄養科 栄養士 岡野 玲菜

当院で提供している汁物は、通常の汁とトロミ付の汁で提供していますが、トロミ付の汁はトロミ無しに比べると、塩分を濃く感じる事がしばしばありました。増粘剤自体の塩分添加が判明し、調理時に調整する事で、通常の汁もトロミ付の汁も一般的な塩分濃度0.8%での提供が可能となりました。正確な数値の必要性は理解した上で、塩分濃度の数値や味覚のみにこだわらず、具材も含めた総合的な調整が必要であると改めて再認識できました。『美味しい食事』を目指して、日々邁進してきたいと思います。

第30回全国介護老人保健施設記念大会 別府大分大会

地域と共に紡ぐ令和老健

～豊の国から真価・深化・進化～

会期：2019年11月20日(水)～11月22日(金)

会場：別府ビーコンプラザ、iichiko総合文化センターほか



オリゴ糖シロップによる便秘症状の改善 ～自然排便増加への取り組み～

まいえ1 看護師 濱田 彩子

当施設では下剤や浣腸を必要とする利用者も多く、なかなか自然排便を促すことが難しい現状があります。今回オリゴ糖の整腸機能に着目し、腸内フローラのバランスを改善することで便秘を改善できないかと研究しました。個人差はありましたが、職員全員が利用者一人一人の便秘解消法を考えていく大切さを学ぶことが出来ました。今後も生活そのものを個別に見直し、いかせる身体能力の維持向上を目標として対応していきたいです。

院内研修

ノロウイルス吐物処理研修

十月二十五日に大ホールと研修室で感染委員によるノロウイルス吐物処理の研修が行われ、百二十名以上の参加がありました。本年度は吐物処理手順マニュアルの書式を統一して、研修日までに練習を重ねて本番の日を迎えました。

この研修は誰もが対応できるように様々な職種の方に参加していただき、臥床時、歩行時、外来の待ち合い時に患者さまが嘔吐した場合を想定して、毎年ノロウイルスが流行する前に行われています。嘔吐した患者さまを発見したら、感染症が疑われる場合は他の人が近づかないようにし、吐物の処置、消毒を素早くしなければなりません。応援の職員を呼んで吐物を処理する係、汚れた衣類を着替えるのを



介護老人保健施設 まいえー
看護科長 古田 広子

手伝う係に分かれてそれぞれの手順に沿って、シミュレーションが行われました。

実際、ノロウイルスの疑いのある患者さまが嘔吐した場合、マニュアル通り行動できるか不安に感じている職員は多いと思います。研修に参加できなかった職員も含め、各部署で全職員が基本的動作を理解した上で正しい手技の習得ができるよう努め、感染が拡大しないように今後も取り組んでまいります。

第4回

認知症勉強会を開催しました



令和元年十月二十六日(土)、ナカムラ病院にて第四回認知症勉強会を開催しました。

この会は、認知症の理解を深めていただくことを目的として、地域の方を対象に開催している勉強会です。

四回目となる今回は「認知症の薬の種類、認知症の人への無理のない内服方法」というテーマで薬剤師と看護師が講義を行いました。

前半は薬局長の長島薬剤師から認知症の薬の種類、効果、副作用について話があり、後半は認知症ケア専門士であるB6病棟科長山下看護師から服薬管理の方法、服薬時の関わり方について話をしました。

参加者の方々からは「何故この薬が処方されているのだろうか?」という疑問が解けた」という声や「改めて

薬について考える機会になった」との声をいただきました。

また、今回はケアマネージャーや看護師など近隣の在宅介護サービスに従事されている専門職の方々も参加もありました。今後も地域の方、家族の方ももちろん、多くの方に参加していただける会にしていきたいと思っております。

地域連携センター 田中 麻子



陽光ふぁみりー

1年間の感謝を込めたプレゼント制作

りました。緑のビニールテープを細かく裂いてもみの木に見立て、星とプレゼントの装飾品も全て手作りしました。ホワイトクリスマスをイメージしたこのツリーは利用者様にとっても好評でした。

最後は一年間の感謝をこめて利用者様へ渡すクリスマスリース作りを行いました。丸く切った画用紙の上にマカロニを置いていくのですが、センスを試されているようでドキドキしました。シルバークロニには見えません。さらにその上から綺麗なビーズや赤いリボンをつけてクリスマスリースの出来上がりです。陽光の家デイサービスの職員一同、利用者様に喜んでもらえる様に一生懸命作りました。

これからも、利用者様が喜ばれること、楽しめる事を考えていき「このデイサービスを利用してよかった」と思ってもらえるように取り組んでいきたいと思えます。



陽光の家 通所介護事業所

相談員兼介護職 網本 忠文

十二月に入り、陽光の家デイサービスでは利用者様に楽しんでもらおうと、二つのクリスマスツリーを準備しました。一つ目のツリーは利用者様と一緒に飾り付けを行い、もみの木にはカラフルな装飾品、葉っぱの部分には雪に見立てた綿を飾りました。最後に「メリークリスマス」と書かれたプレートを飾って完成です。クリスマスツリーが一つ飾ってあるだけで、ぐっとクリスマスらしい雰囲気になりました。利用者様にも「クリスマスっぽくなったね」と喜んでいただけました。

二つ目のツリーは「デイサービス内に飾ってあるツリーを職員が作

栄養のお話

何かと忙しく、食べすぎたり、ストレスのたまりやすい時期です。胃がお疲れモードの方もおられるのではないのでしょうか。疲れた胃を労わってあげる食事としては、

- ① 消化が早い
- ② 脂肪や食物繊維が少ない
- ③ たんぱく質やビタミンも大事

などのポイントがあります。極端に塩分が強すぎるもの、甘すぎるものも胃に負担をかけがちなので注意しましょう。

うどんやお粥などの消化の良い炭水化物と加熱した野菜が入った鍋やスープなどが食べやすいです。3食きちんと食事を摂ることで消化液が分泌されて胃腸が働きやすくなります。また、よく噛んだり腹八分目に抑えることもおすすめです。



つばいこぼれ話 外食の巻

秋晴れの十一月、待ちに待った外食の日です。「わぁ嬉しい！どこに行くの？」と期待を膨らませながら出かけました。

到着したのはおんまぐ寿司で、お膳に並んだお寿司や天ぷらなどのおちそうに皆さん大満足。楽しい時間はあっという間に過ぎてゆきます。次のお出かけはどこにしましょうか？

グループホーム つばい 介護職 若宮ゆう子



ナカムラ病院 管理栄養士 長村 悦子

いきいき行事タイムズ

10月



- ボランティア・売店(陽光の家)
- 映画鑑賞会(A3)
- 秋の運動会(まいえ2)
- 秋の食事会(にぎや家)
- 運動会(つばい)
- 秋の遠足(保育室)
- 子どもみこし(陽光の家)
- ケーキバイキング(B5)
- 小運動会(B7)
- 秋の運動会(まいえ1)
- フルーツバイキング(まいえ2)
- ケーキバイキング(まいえ1)
- 法話会【長福寺】(陽光の家)
- お好み焼きを食べよう!(B6)
- 第2回介護医療院ひいろ運動会(リハビリ)

11月



- ボランティア・売店(陽光の家)
- 芸術の秋～映画上映会～(B7)
- 外食(つばい)
- 慰問【ひまわり会】(陽光の家)
- 紅葉狩り(A3)
- 大正琴演奏会(全体行事)
- 歌謡ショー(まいえ2)
- 法話会(リハビリ)
- 昼食バイキング(まいえ1)
- 秋を楽しむ会(B5)
- 紙芝居を楽しもう(B6)
- 法話会【教専寺】(陽光の家)
- フルーツバイキング(にぎや家)
- ケーキバイキング(まいえ2)

12月



- クリスマス会(A3)
- 法話会【蓮教寺】(陽光の家)
- ボランティア・売店(陽光の家)
- 忘年会(まいえ2)
- クリスマス会&獅子舞(全体行事)
- クリスマス会(B5)
- 忘年会(陽光の家)
- クリスマス会(B7)
- 慰問【大正琴】(陽光の家)
- 楽しいクリスマスパーティー(まいえ1)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- クリスマス会(つばい)
- 慰問【そよ風】(陽光の家)
- 年末カラオケ大会(にぎや家)

十一月十五日の午後、A3病棟では「紅葉狩り」と題して行事を行いました。どのように行事を行うか悩み、紅葉狩りについて調べてみると、「狩り」とは平安時代の貴族が草花を鑑賞することを表現したとあり、神楽の演目にもあるということでした。そこで病院内では触れることの少ない神楽を観ていただくと考えました。

行事の日が近くなり、患者さまと話題にしてみると、やはり昔は観ていたという方や、中には神楽をやっていたという方もいらっしゃいました。

行事が始まりテレビの前に並

いきいき
行事だより

紅葉狩り



んでいたと、面会にいらっしやうたご家族が「昔好きで見たい。」とおっしゃり、ご主人と一緒にご覧になりました。いつもと違うテンポの太鼓や笛の音色を聴き、神楽の雰囲気を感じていただけようでした。

その後、芋ようかんとグリーンティーを召し上がっていただき、「紅葉狩り」の行事を締めくくりました。

今後も、日常生活の中でも懐かしさと季節感を感じられ、楽しく笑顔のある会を企画してまいります。

ナカムラ病院 A3病棟

介護職 田中 玲子





『音楽は涙と記憶に最も近い芸術である』

これはアイルランド出身の作家、オスカー・ワイルドの言葉です。開店三周年を迎えた認知症カフェ サロン・ド・ファミーユでは昨秋、芸術の秋にふさわしく音楽をテーマとして催しを、実施いたしました。

講師には、昨年一月にもお越しいただき、大変ご好評をいただいた指揮者の林直之さまをお迎えし「指揮者とチャレンジ！音楽脳トレ！」というテーマで、当院のリハビリスタッフ二名と共に実に楽しく充実したひと時を演出してくださいました。

お客様からも大変好評で、開店前には、待ちわびる皆さまの行列ができる程であり、改めて音楽という芸術の、人々の心を惹きつけ魅了する力を、スタッフ一同実感した次第です。

皆様のおかげで無事に三周年を迎えられ、改めて感謝申し上げます。これからも、時に真面目に、時に楽しく様々なテーマを取り上げていく計画です。皆さま、是非お気軽にお立ち寄りくださいませ。

ナカ今病院 臨床心理士室 厚井 真一



広島市委託事業
認知症初期集中支援チームが
ご自宅にお伺いします。

認知症かも…と思ったら家族だけで頑張りすぎないことが大切です。お近くの**地域包括支援センター**へお気軽にご相談ください。



今年も恒例のカレンダー展を開催いたしました。

令和になって初めて元旦を迎える年。今年も暦の上では「子(ねずみ)歳」にあたり、子歳は十二支の初まり。新たなスタートや生命の芽生えを意味します。また、子歳は繁栄の年でもあると言われるております。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会も開催され、関連イベントや国内外から訪れる多くの来街者で、日本中が大いに盛り上がることでしょう。カレンダー展で新しい年に希望と夢を抱いていただき、新春を明るくお迎えいただければ幸いです。

本企画展開催にあたり、ご協力いただきました皆さまに心からお礼申し上げます。



PIAギャラリー

館長 中村 友美

佐々岡未央さんが
公認心理師を取得されました



佐々岡 未央さん

「公認心理師」は心理職では初の国家資格で、2018年に施行され、2019年9月末時点で約3万人誕生しています。「心の健康問題に連携して支援する」という役割を担えるよう頑張ります。気軽にお声掛けください。」

※ 編集後記

令和二年がスタートし、七月二十四日からは二〇二〇東京オリンピックが開催されます。前回の東京オリンピックは一九六四年の開催でしたね。

さて、オリンピックは国々の代表が選ばれて競技をする大会ですが、私たち病院職員も研究を行い、選ばれた研究は全国に発表に行くというどこかオリンピックと似ている様な事をしていきます。

今回のC&Cでも四ページに各発表者の記事を載せていますのでご覧になってみてください。

(N)